



2017-18年度
国際ロータリー会長
イアン・ライズリー

Weekly Report Niigata



国際ロータリー
2017-18年度テーマ



2017～18年度
新潟ロータリークラブ会長
徳永 昭輝

新潟 RC 10月第1例会 (2017.10.3) No.3201

- (1) 「君が代」斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
- (2) 徳永 昭輝会長挨拶

10月は、「米山月間、経済と地域社会の発展月間」となっています。日曜日に、新潟医療福祉大学、医療経営管理学部の石上和男教授の依頼で「NPO 法人きこえエール新潟」設立総会開催記念講演を依頼されて、長岡のサンライフ長岡で「産科医から見た新生児聴覚スクリーニング検査の意義について」講演をしてきました。新潟県の難聴新生児・家族の支援の在り方研究会（会長：新潟医療福祉大学講師；桑原桂）が主催した講演会でした。機会を見て新生児の難聴について話をしたいと思っています。

今日は、地域社会のニーズに合った社会奉仕活動を考えてみたいと思います。先日、国際RC事務局；業務推進・資料室から「経済と地域社会の発展月間」のリソースの案内がありました。“世界各地のRCは、経済と地域社会の発展を目指す活動に取り組んでいますが、プロジェクトを始める前に、まず地域における社会の「ニーズ」(何が必要か)と「リソース」(何を地元で調達できるか)を確認することが大切である”といった、経済と地域社会の発展、プロジェクト戦略が提示されていました。

いままで、少子高齢化社会に関する話をしてきましたが、「子供の貧困」について触れて、今後の社会奉仕活動の在り方を考える参考になればと思います。

「子供の貧困率」は、“貧困状態にある17歳以下の子どもの割合”です。2012年の子どもの貧困率は16.3%でした。最新の2015年の貧困率は13.9%と低下していました。つまり、2012年には6人1人が貧困であったが、2015年には7人1人と見られたという厚労省（H29.6.27.国民生活基礎調査）の報告がありました。子供の貧困率の低下の背景は何か。子供の貧困率はなぜ改善したのか？子供の可処分所得の分布をみると、貧困線よりも所得の低い層の割合が低下し、貧困線より所得の高い200～360万円の層が増加している。①総所得は2012年の673.2万円から2015年は707.8万円へと35万円程度増えている。②しかし、雇用者所得が35万円ほど増えている一方で、児童手当社会保障給付は減少している。貧困率の低下は、賃金の増加によるもので、社会保障等の充実によるものではない！と分析され

ています。子どもの貧困率が低下したと言っても、国際的にみると、日本の子どもの貧困率は経済協力開発機構（OECD）主要国の中で、まだまだ高い状況にあります。

低所得層の賃金上昇の背景には、①経済状況の安定、②労働供給の減少に伴う人手不足があります。子どもの貧困率の上昇のトレンドは一般するか・・・？

子どもの貧困率の低下のためには、政策支援が必要であります。2013年「子どもの貧困対策の推進に関する法律」、2014年「子供の貧困対策に関する大綱」などによってその対策を進めてきているが、政府の対策の効果は数字には表れてきていないのが現状です。

子どもの貧困率を考える場合、貧困は多面的に考える必要があります。相対的貧困は、所得という単一の軸に基づいていますが、現代の貧困は、経済的な貧困だけではなく、関係性の貧困、機会の格差、健康格差、リテラシーの格差など、多面的な形で表れています。必要な支援も多様化しています。ノーベル経済学者のアマルティア・センは、必要に応じて人々が選択できる「機会」の集合を「ケイパビリティ（capability; 潜在能力）」と定義し、ケイパビリティを高めていくことの重要性を説いています。

今後は、子どもの貧困の実態を多面的にとらえながら、適切な支援に結び付けていくことが求められていると考えています。新潟RCの社会事業として2000年から行われている「交通遺児を励ます事業」も17回になります。2年前くらいから出席者が少なくなり、個人情報の問題等で行政との提携も限界を迎えているように思われます。ある会員から「子ども食堂」のことを聞かされ、新潟市内にある子ども食堂を調べてみました。なんと新潟市内に13か所も子ども食堂がありました。子ども食堂の意義について、新潟県立大学人間生活部長の村山伸子さんは、健全な食事を提供することは、成長期にある子どもの心身の発育にとって重要なだけでなく、大人になってからの健康的な食習慣につながる。子ども食堂は、健全な食事をみんなで一緒にたべたり、作ったりする体験を子供に提供します。

また、子どもにとっては居場所であり、保護者にとっては地域の人とのつながる場所である。全ての子どもに「健全な食事」の機会を保障することは、全ての大人の責任である。と言っています。社会ニーズにあった、新潟RCらしい、社会奉仕活動・職業奉仕活動を検討したいと思っています。

10月3日 理事会報告 出席者9名

- (3) 米山奨学生
ソド チャンドマニチメグさん 奨学金贈呈
- (4) 100%出席バッチの贈呈(新田 幸壽委員長)
横村 正一君 10年 斎藤庫之丞君 16年
- (5) 誕生日お祝い贈呈(6名)
- (6) 結婚記念日お祝いの紹介(15名)
- (7) 坂井賢一職業奉仕委員長より

10月24日、柏崎刈羽原子力発電所職場訪問ご参加の方は、コピーを提出された運転免許証が保険証を必ずお持ち願います。お忘れになると入館不能との事です。

- (8) 同好会報告
・小林 建ゴルフ同好会幹事より、10月22日(日)コンペのご案内(於 紫雲 GC)

- (9) 各種ご寄付の発表
ロータリー財団寄付発表(得永 哲史委員長)
坂井 賢一君 樋熊 紀雄君
徳永 昭輝君
米山奨学会寄付発表(白勢 仁士委員長)
池上 茂樹君 坂井 賢一君
白勢 仁士君 鈴木 滋弥君
吉田 和弘君
青少年育成基金寄付発表(小林 悟副委員長)
内山 清君 小林 悟君
坂井 賢一君

- (10) ニコニコボックス紹介(金井政則委員)

・金井 政則君 初仕事で、感謝!!

- (11) 小本将綱君へ地区米山記念奨学生選考委員委嘱状伝達

- (12) 幹事報告(織戸 潔幹事)

・例会終了後 指名委員会を4階「柳の間」にて開催致します。

- (13) 10月 3日例会の出席率 78.94 %
会員数 93名(出席免除会員 8名)
出席者 68名(出席免除会員2名を含む)
(2週間前メーク後 93.26 %)

10月17日は「月見夜例会」

於 イタリア軒 17:30 受付 18:00 開会

- 1、入会推薦者について ⇒ 承認
東日本旅客鉄道(株)執行役員新潟支社長 今井 政人君
(推薦者 高木 言芳君、高橋 康隆君)
- 2、指名委員会開催について ⇒ 第一回開催 10月3日(火) 13:30 承認
- 3、年次総会告示について⇒11月7日(火) 告知 承認
- 4、11/7 ガバナー公式訪問について ⇒ 承認
- 5、地区長期交換プログラム応募について ⇒
応募者 本間 董子さん 承認
- 6、10月のプログラム ⇒ 承認
10月3日 卓話なし
10月10日 会員スピーチ
「インターネットで、もっと仕事を簡単に」
(株)ProntoNet 代表取締役 小木将綱君
10月17日 月見夜例会
17:30 受付 18:00 開会 於 イタリア軒
10月24日 卓話「新潟今昔写真の取り組みと今後の展望」(仮)
新潟今昔写真プロジェクト 事務局 富山聡仁氏
例会終了後 職場訪問(柏崎刈羽原子力発電所)
- 10月31日 卓話「子どもシェルターぼるとの取り組み」
NPO法人子どもセンターぼると理事 黒沼有紗氏
- 7、その他
- ② 回理事会 開催日変更(10/31→10/24) ⇒ 承認
- ② 納会夜例会 開催日変更(6/26→6/19) ⇒ 承認
(6/26は通常昼例会)
- ③ 地区大会 会員負担の件=10/28~29の地区大会出席登録率が低迷している。新入会員、1~2年生会員にも積極的に参加を促す。最終的に登録率が50%に満たない場合、不足分を新潟RCから登録料1人7,000円を負担したい。また、今後、新入会員のオリエンテーションにおいて、地区大会やIMの参加を義務出席とさせるべく、情報委員会に要請したい。
- ④ 社会奉仕活動についての諮問委員会設置について
社会奉仕活動の活性化と、社会ニーズに合った奉仕活動を目指し、事業の見直しを図る為、諮問委員会を設置したい。については、若槻会長エレクトを中心にプロジェクトチームを編成。人選は、同氏に一任する。
- ⑤ 野鴨を食べる会=持回り審議(2017.9.19) 受付第2017-6号において、本件は承認された。しかし、「メークアップ扱い」について、意義申し立てを受け、この度再審議となった。
- ⑥ 「ミャンマー医療支援」取組の進捗状況(9/26 ファイアースイトミティング開催) =宇尾野直前会長が、今月末、ヤンゴンRCへ訪問予定。本プロジェクトの趣旨説明と親睦を図る。
- ⑦ 「植樹事業」取組の進捗状況(9/29 ファイアースイトミティング開催) =石川 SAA に要請し、植樹の場所、種類、時期等の案のたたき台を作成。具体的に進めていく。